

才10表 ハワイの主要なbrush 種とSilvex 散布による効果の差(カウアイ支場)

英 名 (学 名)	Silvex への反応
melastoma(Melastoma malabathricum)	suscep.
false staghornfern(Dicranopteris)	suscep.
lantana, (Lantana camara)	interm.
ohia, (Metrosideros collina var. polymorph)	suscep.
guava(Psidium guajava)	interm.
hau(Hibiscus tiliaceus)	resist.
jova plum (Eugenia cruminii)	resist.
hupu(Cibotinum splendens)	—

加すると、労賃の高いハワイにおいては、道路が目的であるが、除草剤がきわめて広く使用さ
の両側の雑草防除、この場合はEradication されていることであろう。

昭和41年度特作関係除草剤

試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

当協会委託の昭和41年度特作関係除草剤の
適用性判定試験成績検討会は、林地関係が昨年
12月8日、桑園関係が本年2月20日、牧野
草地関係が2月24日、茶園関係が2月28日、
春作芝関係が昨年12月5日、冬作芝関係が7
月18日に、それぞれ開催された。

その結果の概要をここに紹介する。

1) 年次供試薬剤数の動き

各部門別に供試された除草剤数は、昭和40
年度は、林地関係1、桑園関係7、冬作芝関係
4、41年度は林地関係2、桑園関係5、牧
野草地関係5、茶園関係6、芝関係17、
(夏作9、冬作8)、42年度は林地関係2、
桑園関係6、牧野草地関係1、茶園関係4、夏

作芝関係7薬剤がそれぞれ供試されている(才
1表)。

<第1表> 年次別供試薬剤の推移

区 分	40年	41年	42年
林 地	1	2	2
桑 園	7	5	6
牧野草地	7	5	1
茶 園	—	6	4
芝	(冬) 4	(夏) 9 (冬) 7	(夏) 7
計	19	34	20

2) 昭和41年度試験結果の概要

特作関係で昭和41年度に供試された除草剤
数は34薬剤で、その成分を示せば才2表のと
おりである。

は第4表のとおりである。

これらの中で、除草効果、薬害等の面より有望と認められて、実用化に移されることになったものは、桑園関係3、牧野草地関係4、春作芝関係2、冬作芝関係3の計12薬剤である(第3表)

なお詳細については、協会発行の昭和41年度桑園関係除草剤試験成績集録および同概要、昭和41年度牧野草地関係除草剤試験成績集録および同概要、昭和41年度茶園関係除草剤試験成績集録および同要録、昭和41年度冬作芝関係除草剤試験成績集録を参照されたい。

実用化の認められた除草剤の作物別使用基準

<第2表> 昭和41年度供試薬剤成分一覧表

区 分	薬 剤 名		成 分 お よ び 含 有 率	委 託 会 社
	一般名又は試験名	商 品 名		
林 地	DCPA, NAC乳剤	ワイダック乳剤	DCPA: 2, 4-ジクロロプロピオンアニリド 25% NAC: 1-ナフチル-N-メチルカーバ이트 5%	ワイダック普及会
	BV-201乳剤		1-(3, 4-ジクロロフェニル)-3-メチル-2-ピロリジノン 40%	三 洋 貿 易
桑 園	プロメトリン(A-1114)水和剤	ゲザガード水和剤	2-メチルチオ-4, 6-ビス-イソプロピルアミノ-S-トリアジン	日 本 化 薬
	プロメトリンCAT(A-1808)水和剤	キャンパロール水和剤	A-1114 40%, CAT: 2-クロロ-4, 6-ビス(エチルアミノ)-1, 3, 5-トリアジン 10%	"
	パラコート液 剤	グラモキソン液剤	1, 1'-ジメチル-4, 4'-ビピリジリウムジグロソリ 24%	I.C.I.日農武田
	モノリニユロン水和剤	アレシン水和剤	N-(4-クロロフェニル)-N'-メトキシ-メチルウレア 50%	アレシン普及会
	リニユロン水和剤	アフアロン水和剤	3-(3, 4-ジクロロフェニル)-1-メトキシ-1-メチルウレア 50%	アフアロン普及会
牧 野 草 地	2, 4-D, ATA水溶剤	カイコン水溶剤	2, 4-D: 2, 4-ジクロロフェノキシ酢酸ナトリウム塩 88%(酸として)ATA: 3-アミノ-1, 2, 4-トリアゾール 43%	2, 4-D普及会
	2, 4-D乳 剤			"
	2, 3, 6-TBA(NT-2, 36)粒剤	トリバック10粒剤	2, 3, 6-トリクロロ安息香酸ナトリウム 10%	日 東 化 学
	MK-100乳剤		クロラル誘導体 30%	三 菱 化 成
	パラコート液 剤	グラモキソン液剤	前 掲	I.C.I.日農武田
茶 園	(ニトロフェン乳剤)	NIP乳 剤	2, 4-ジクロロフェニル-4'-ニトロフェニルエーテル 25%	三 洋 貿 易
	MO-338乳剤	MO乳 剤	2, 4, 6-トリクロロフェニル-4'-ニトロフェニルエーテル 20%	M O 普 及 会
	DCPA, NAC乳 剤	ワイダック乳剤	前 掲	ワイダック普及会
	BV-201乳剤		前 掲	三 洋 貿 易
	ソリュロン水和剤	アフアロン水和剤	前 掲	アフアロン普及会
	パラコート液 剤	グラモキソン液剤	前 掲	武 田 薬 品

区 分	薬 剤 名		成 分 お よ び 含 有 率	委 託 会 社
	一般名又は試験名	商 品 名		
芝 1) 春作	S-4154 水和剤		1-(2-メチルシクロヘキシル)-8-フェニルウレア 50%	住 友 化 学
	OK-6501 水溶剤		フェノキシアセティックアシッド系化合物 のマレイックヒドラジッド誘導体 50%	大 塚 化 学
	OK-6511 水溶剤	ワイダック乳剤	フェノキシアセティックアシッド誘導体 マレイックヒドラジッド 21% 9%	"
	DCPA・NAC乳剤	ワイダック乳剤	前 掲	ワイダック普及会
	A T P 水 溶 剤		4-アミノ-3,5,6-トリクロロピコリン酸 21.5%	ダウケミカル
	DCPA-85 乳 剤		前 掲 35%	DCPA普及会
	SLH-19 粒剤	ベネフィン	N-ブチル-N-エチル- α , α -トリフルオロ -2,6=ジエトローP-トリルジン 2.5%	シオノギ製薬
	DIC-TMC 水和剤	AZAK 水和剤	2,6-ジ(ターブチル)-P-トリル N-メチルカーバイト 80%	大日本インキ
	S-41 乳 剤	ローンパー乳剤	N-(β -0.0-ジイソプロピル-ジチオフオスフ オリルエチル)-ベンゼンスルホンアミド 50%	東 洋 棉 花
2) 冬作	コーライ芝 SLH-19 粒剤	ベネフィン	前 掲	シオノギ製薬
	2,4-D+2,4,5-T 水和剤		2,4-D 60%, 2,4,5-T: 2,4,5- トリクロロフェノキシ酢酸ソーダ 30%	日産農薬サービス
	2,4-D+2,4,5-T +CAT 水和剤		2,4-D 80%, 2,4,5-T 15%, CAT 2.5%	"
	MCC 水和剤	SWEP 水和剤	メチル-N-(3,4-ジクロロフェニル) カーバイト 40%	日 産 化 学
	MCC+2,4-D			"
	S-4154 水和剤		1-(2-メチルシクロヘキシル)-8-フェニルウレア 50%	住 友 化 学
	ベントグラス S-4154 水和剤		"	"

<第3表> 実 用 化 判 定 表

区 分	実 用 化	実 と 継	継	継 ?	中 止
林 地			DCPA・NAC乳剤 BV-201水和剤		
桑 園	A-1114 水和剤 A-1808 水和剤	リニユロン(水和剤)	モノリニユロン水和剤		
牧 野 草 地	NT-2.3.6(10粒剤) (全面処理) パラコート液剤	2,4,-D 乳 剤 NT-2,3,6(10 粒剤) (スポット処理)	NT-2.3.6(10 粒剤) (ラジノクロバー)		MK-100乳剤
茶 園			NIP乳剤 MO-338乳剤 DCPA・NAC乳剤 BV-201水和剤 リニユロン(水和剤) パラコート液剤		

区 分	実 用 化	実 と 継	継	継 ?	中 止
芝 (夏作)	A T P 水溶剤	S-41乳剤	OK-6501水溶剤 OK-6511水溶剤 DCPA-85乳剤 SLH-19粒剤 DIC-TMC水和剤		DCPA・NAC乳剤
(冬作)		SLH-19粒剤 S-415水和剤 (コーライ) S-415水和剤 (ベント)	2,4-D+2,4,5-T 水和剤 2,4-D+2,4,5-T +CAT 水和剤 SWEP 水和剤 SWEP+2,4-D		

<第4表> 昭和41年度特別関係実用化除草剤使用基準一覧表

	薬 剤 名	処 理 方 法	処 理 時 期	使用量製品 g/10a	使 用 上 の 注 意
桑 園	A-1114水和剤 (ゲザガード)	土壌および雑草 茎葉	桑春発芽前または 夏切後なるべく 早く	200~300	展着剤の加用は桑に被害をおこす危険性があるので桑の発芽後散布に注意する。
	A-1808水和剤 (キャンパロール)	"	"	200~300	
	パラコート液剤 (グラモキソン)	雑草処理		300cc	
	リニユロン水和剤 (アフアロン)	土壌および雑 草処理	春発芽前または 夏切後なるべく 早く。	300cc	
牧野草地	2,4-D 乳 剤	雑草茎葉	6月上旬	250~500cc	刈取直後, ラジノの抑圧 関東平担地以西
	NT-2,86(トリ バック)10粒剤	"	① 初春(出芽時) ② 刈取後再生初期	500~1,000g	イネ科牧草地対象全面およびスポット 処理の火山灰土。ダイオウ, ギン ギシなどのスポット処理は1株当り 1~4gを散布。晴天を選ぶ。マメ 科牧草は葉害をうけやすい。夕方や くもりの時の散布が効果高い。
	パラコート液剤 (パラコート)	"	火入前	3000cc (100ℓの水) にうすめる	夕方やくもりの時の散布が効果高い
芝 1) 春	S-41 (ロンパー)	土壌処理	雑草発芽前 2月下旬~4月 8月下旬~10月	2,000~ 3,000cc	イネ科雑草(メヒシバ, オヒシバ, スズメ ノカタビラ)を対象, 残効性が長い ターフ形成前は葉害がでやすい(ベント)
	ATP(トウドン)	雑草茎葉	雑草発生後	(成分) 20~40g	広葉対象 コーライ芝対象
2) 冬	SLH-19粒剤 (ベネフイン)	土 壌	雑草発芽前		コーライ芝対象
	S-4154 水和剤	"	"	1,000~1,500	イネ科雑草(メヒシバ, オヒシバ) 対象。スズメノカタビラには効きにくい。 残効性長い, パーミューダ(ティフ トン等)に生育抑制がある。 コーライ芝, ベント対象